

## 日 誌 (昭和62年 6 月)

### 【国 内】

- |   |   |
|---|---|
| <p>1日 ○政府、長期国債(6月債)の発行条件を改定</p> <p>4日 ○大蔵省、「金融・資本市場の自由化、国際化に関する当面の展望」を公表</p> <p>9日 ○大阪証券取引所、「株先50」の取引を開始</p> <p>10日 ○政府、政府保証債、公募地方債(6月債)の発行条件を改定</p> <p>○大蔵省、投資顧問業者に対し投資一任業務を認可</p> <p>11日 ○抵当証券研究会(大蔵省銀行局長・証券局長、法務省民事局長の私的諮問機関)、「抵当証券取引について」と題する報告書を公表</p> <p>17日 ○大蔵省、大口定期預金、MMC、CDの規制緩和に関する通達を发出</p> | <p>○引受証券会社、事業債(6月債)の発行条件を改定</p> <p>19日 ○住宅金融公庫、貸付金利の引下げを実施(4月24日に遡及改定)</p> <p>22日 ○財政制度審議会、「62年度補正予算の編成についての報告」を大蔵大臣に提出</p> <p>23日 ○政府、62年度一般会計補正予算案ならびに同財政投融资計画改定案を閣議了解</p> <p>24日 ○短資協会、無担保コール取引を多様化(7月1日から開始)</p> <p>25日 ○大蔵省、全国銀行等に対し株式の信用取引を認可</p> <p>29日 ○都市銀行等、住宅ローン金利を引下げ</p> |
|---|---|

### 【海 外】

- |  |  |
|--|--|
| <p>1日 ○マレーシア、基準貸出金利を引下げ</p> <p>2日 ○香港、預貸金金利を引上げ</p> <p>11日 ○英国、総選挙を実施、サッチャー改造内閣成立(6/13)</p> <p>○インドネシア、企業活動規制を緩和</p> <p>○豪州、公定歩合を引下げ</p> <p>16日 ○ブンデスバンク、ECUの私的使用の自由化を決定</p> | <p>18日 ○豪州、公定歩合を引下げ</p> <p>○ニュージーランド、87/88年度予算案を発表</p> <p>22日 ○香港、預貸金金利を引上げ</p> <p>24日 ○西ドイツ政府、ブンデスバンク正・副総裁の再任を決定</p> <p>○タイ、88年度予算案を発表</p> <p>29日 ○フィジー、為替レートを切下げ</p> <p>30日 ○ソ連、国家企業法を決定</p> |
|--|--|